

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (R3-7号)

令和3年8月6日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和3年8月2日に伊勢湾、4、5日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

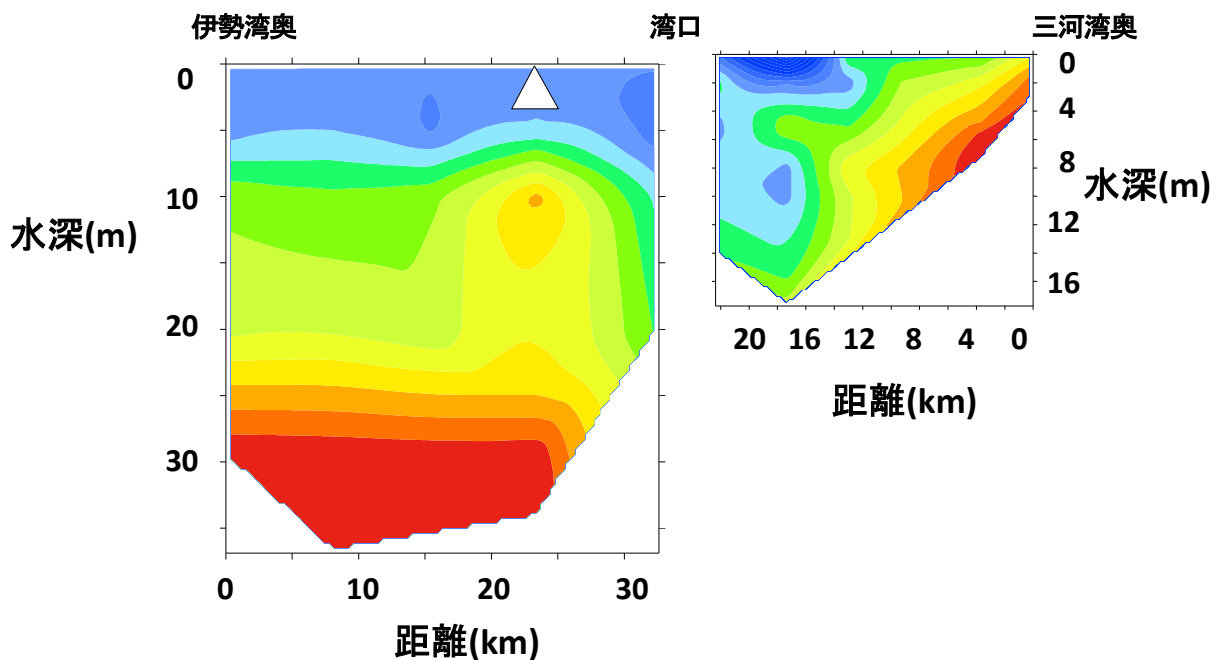
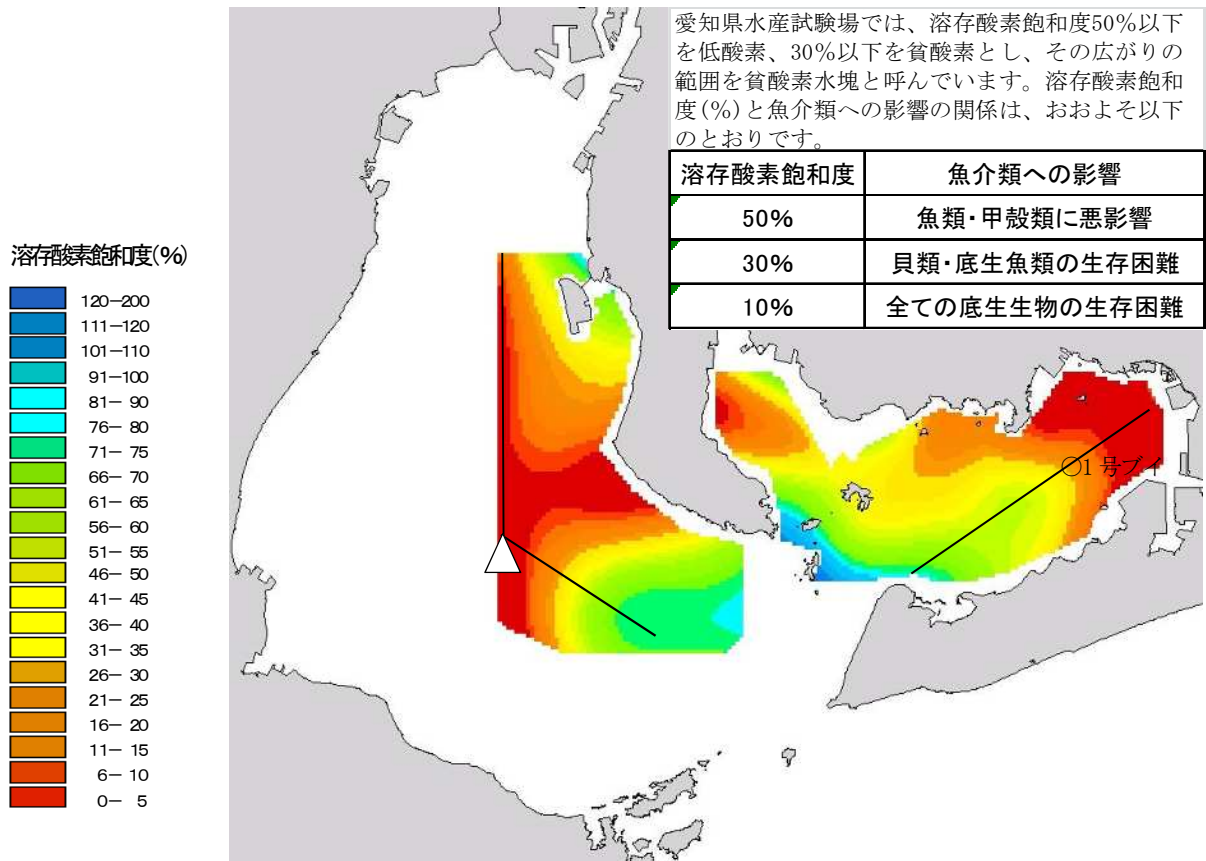


図1 伊勢湾(8月2日)、三河湾(8月4、5日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「へいわ」調査)

### 伊勢湾

8月2日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾の広い範囲で貧酸素水塊が確認され、特に湾中央部では南北にかけて溶存酸素飽和度10%以下の水塊が見られます。一方、湾口部から豊浜沖にかけて溶存酸素飽和度50%以上の水塊が確認されました。水温・塩分躍層が発達しており、今後も貧酸素水塊の規模は継続すると思われませんが、台風9号、10号の影響によっては、一時的に貧酸素水塊が縮小する可能性があります。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	28.2~29.9	24.5~29.5
底層	18.6~28.7	27.2~33.5

### 三河湾

8月4、5日の調査結果を図1に示しました。渥美湾の湾奥、知多湾の西側で溶存酸素飽和度10%以下の貧酸素水塊が確認されました。一方で、渥美湾の中央部から湾口部にかけては溶存酸素飽和度50%以上の水塊が見られます(図1)。先月下旬と比べ貧酸素水塊が縮小していることが確認されました(図3)。

三河湾海況自動観測ブイ(蒲郡沖、1号ブイ)のデータを見ると、7月下旬以降貧酸素水塊は厚みが増し、8月初旬に海底上約5m前後の範囲で確認されましたが、8月3日~4日にかけて底層の貧酸素水塊が一時的に縮小しています。3日には風速10m/s前後の南東風が発生しており、海水が上下混合したことが考えられます。5日には再び底層で貧酸素水塊が形成されており、貧酸素水塊が拡大することが考えられますが、台風9号、10号の影響によっては、強風に伴う苦潮の発生にも注意が必要です。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	25.7~31.2	24.3~31.1
底層	22.6~27.6	27.9~32.9

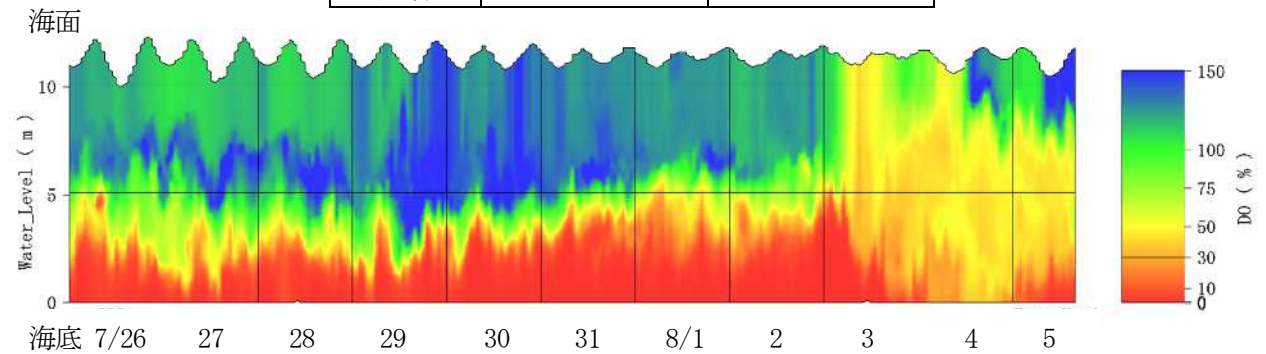


図2 溶存酸素飽和度(DO)の経時変化(三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ)

### 参考

前回調査時の伊勢湾、三河湾底層の溶存酸素状況

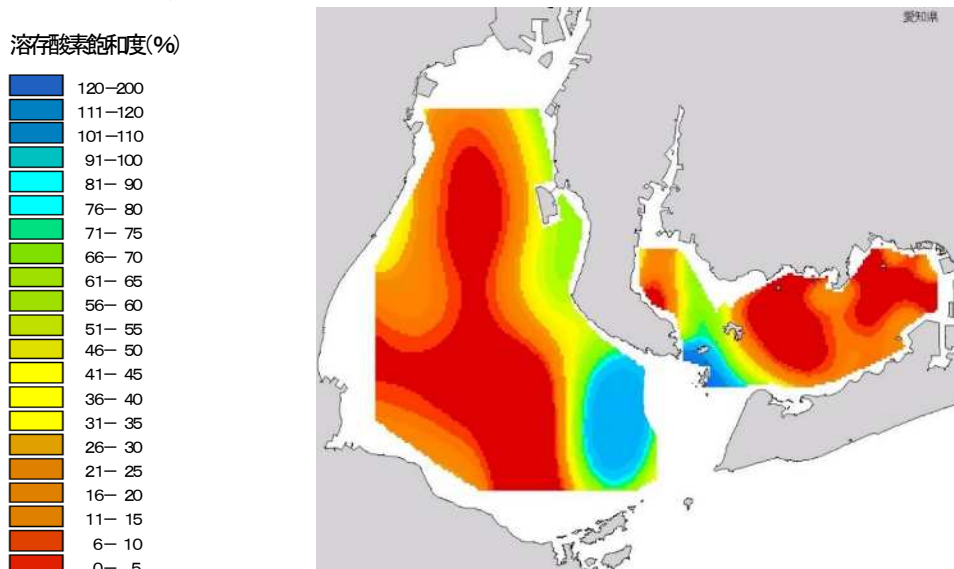


図3 伊勢湾(7月27、28日)、三河湾(7月27日)